



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2011.09.02

No.00670

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：城出鴻二郎 幹 事：横澤啓二 連絡先：TEL 0297-66-3258 FAX 0297-66-3280 <http://rcrc.web5.jp>
 事務所：〒301-0032 茨城県龍ヶ崎市松葉 5-12-6 例会会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【会員卓話③】
横山会員
職業奉仕委員会

次回のプログラム

【ガバナー公式訪問】
大木勲ガバナー
クラブ役員

9月の主な行事：新世代のための月間

第 669 回例会報告

鐘：城出鴻二郎会長
ロータリーソング：四つのテスト
ゲスト：渡利千里 AG
ピジター：大竹雅夫様(竜ヶ崎 RC)

会長報告：城出鴻二郎

■本日は、公式のクラブ協議会になります。皆さんよろしくお願いいたします。



どうも勝手は違い、現在始まっている公式訪問では、クラブによっては、午前中の会長幹事さんとの協議も行わないようで、単に少しRIのお話をした程度だそうです。渡利ガバナー補佐、大竹幹事さん本日はよろしくお願いいたします。

■誠に申し訳ない話ですが、昨日から今日の朝までというか、新地町に高校生ボランティアで研修旅行に行っていましたので、疲れが取れず、集中できない可能性がありますので、お許し願います。龍ヶ崎 RC さんにもご協力を頂、市長さんにもご参加を頂き無事、終了いたしました。現地はこのあと少しご覧いただきますが、写真やビデオを見るのとはまったく違っており、周囲 360 度全て流失していました。気がついた会員さんもありましたが、新知町には最新の石炭火力発電所が立地しており、こちらは無事だったようですが、原発だったらどうなっていたか、・・・でした。

それでは後ほどご説明申し上げます。ご参加いただきました、横山さん、米島さん、椎塚さんありがとうございました。なお、参加の機会をなくされた会員の皆さんは記念の参加賞をお願いいたします。後ほど、ポロシャツをお配りいたします。購入価格は米島委員長と交渉願います。ちなみにこの参加記念販売もプログラムに入っているようです。龍ヶ崎 RC さんにも、

よろしく申し上げます。

日程が例会に重なることになったことから、会報も今回は横山さんの参加をいただいていますので、時間的に難しいと思いましたが、ご子息にお願いして間に合いました。ディスプレイで本日はご説明いたします。最後になりますが、明日は第1回目の地区会長幹事会です。内容が豊富なのか、どうか、まずは行って聞いて見ます。・・・

幹事報告：横澤 啓二

■ロータリー財団レートが9月は78円になりました。

■竜ヶ崎RCさんの例会変更です。9/13クラブ協議会のため夜間例会松泉閣にて午後6時30分より



■米山記念館より案内が来ています。

委員会報告：ロータリー財団・荒木委員長

■当委員会の最大の任務である財団への寄付について当地区の昨年度の実績は、年次寄付は達成率 108.70 パーセント、ポリオ寄付は 102.90 パーセントで、地区としては目標をクリアしました。当クラブは、実質人員が少ないので、当然、それより低い数字にならざるをえないのですが、頑張っています。今年度も、よろしくお願いいたします。

■地区補助金の件

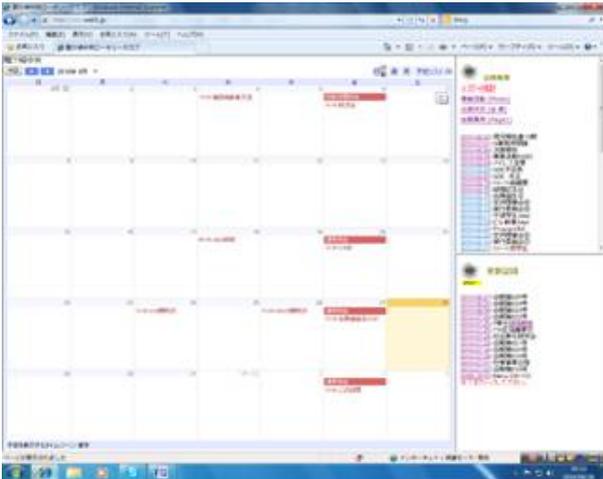
当クラブからは、「簡易飲料水生成装置の開発・提供」を申請しています。基本的に問題は無いようですが、ただ、「開発」については、疑問があるようです。

■研究グループ交換

昨年次の積み残し(スコットランドチームの受け入れ)と、今年次分(ニューヨーク州との交換)とを、今年次に、いっぺんにやるようです。なお、この事業は、間もなく止めるようです。

続・クラブホームページの活用方法

広報委員：横山善英



又、このカレンダーは、先月分、来月分翌々月分等確認や予定に大変役に立ちます。以前、各人が直接記入できるようにしたのですが管理が難しく普及しませんでしたので、こちらで記入することに致しました。赤い矢印は四大奉仕（国際奉仕・社会奉仕・職業奉仕・クラブ奉仕）の活動状況が見られるようになっています。実は会報と重複する部分が多々あるので最近ではアップしていません。今年度の会報は2ページを基本としておりますので報告しきれない場合も発生すると思っておりますので今後はここを活用したいと考えています。

これまでは、主に一般向けの説明をしましたが、「会員専用」について少しお話してみたいと思います。

会員専用に入るには二通りの方法があります。入り方については先程説明をしましたので省略致しますが、どちらとも②欄の表示が出てクリックできるような状態になりますので、後は③欄と同じ要領で入り込めば良いことになります。



②欄は大きく分けて「事業活動(photo)」「出席状況(会員)」「会員専用(Page1)」に分かれておりまして、まず「事業活動(photo)」をクリックすると下のように表示

されます。現在、2006年の「米町独居老人交流」から2010年の「高校生ボランティアスクール」まで60件程の各種の事業活動や行事が一覧として表示されます。見たい写真をクリックするとその写真をスライドショーや単枚毎に見ることができるようになっております。ここも苦心作ですので定期的にチェックして頂けると、より以上に張り合いができるものと思います。

「出席状況(会員)」を飛ばして「会員専用(Page1)」に移りますが、同じくその部分をクリックすると下の



ように表示されます。このページは主にクラブ会員の個人情報、個人写真等を含みますので公表するには少し問題がある情報や写真等が収めてあります。クラブ会員用として「会員名簿」「現況報告書」等が収めてありますが、会員の皆さんには「懐かしの写真集」もクリックして頂きたいページです。ここには創立当初から2001年頃までの写真がpdfで収められています。将来的には時間の調整がつき次第これも「事業活動(photo)」に統合したいと考えております。

その他会長幹事等役員は使用するページも設けてあります。ここは理事会決議録、公式訪問関係書類、会員増強関係書類、会計支払指示書、残高試算表、例会変更書式、ニコニコボックス用紙、会員家族誕生日、結婚記念日、出席報告書式等このホームページを見れば必要なものが必ず手に入るように努力をしております。

幹事をされた方はどなたも経験すると思っておりますが、例会の度に大きな荷物を抱えて持参を余儀なくされております。それをCHPの活用により少しでも軽減できれば幸いと考えます。ロータリーは毎年役員が変わる訳ですから言い尽くせない引き渡しし切れない部分も多々あります。今後とも皆様のご協力をお願いします。皆様の寄稿なり情報、事業報告がこのCHPの基礎となります。後輩のためにもご協力の程宜しくお願い申し上げます。

本日のプログラム 第4回クラブ協議会

第4回目のクラブ協議会が渡利ガバナー補佐をお迎えして行なわれた。

総評として、大変良くできているがクラブに型苦しさも覚えるとのことであった。規律ある例会等は保持しつつも、和やかでもっと楽しめるロータリーライフを目指しなさいということであろう。そのことばを肝に銘じ、この年度を乗り切りましょう。



クラブ奉仕委員会

会員増強と出席継続は全会員がロータリーに魅力を見出すかどうかにある。会員のモチベーションの向上をはかり、それが出席向上、会員増強へ効果を及ぼすようなプログラムを実施する。

クラブ例会等日常的な例会運営や奉仕活動の状況を提供し、且つクラブの対外的な活動分野も含めて周知する委員会になります。会員各位の出席情報から例会プログラムまで幅広く会員の皆さんの協力によって成り立っています。従って、相互の連絡情報アクセスなど細かな情報伝達についてもサービスしたいと思えます。(長友委員長)

職業奉仕委員会

職業奉仕は理解しづらいと殆どのロータリアンが言います。しかし、職業奉仕はロータリークラブの根幹をなすものであり、これを十分に理解しない限り、我々は、ロータリアンとして何をすべきか路頭に迷ってしまうことになり。そんな折、今回の東日本大震災は、見事にそのお手本を一般の方々が私達に示してくれました。その代表的な事柄は、国民一人一人が、今自分にできることは何なのかと自問自答し、ある人は義捐金、農産物、節電を。ある人は自然とボランティアに協力していたことでもあります。また、ある商店主は、自ら被災しながらも、仮店舗で限られた商品を休憩もとらず、且つ通常価格で販売していました。今、自分は、被災者に対してこれしかできないからと。

つまり、職業奉仕は、何も難しい事ではなかったのです。個人として職業人として、そしてクラブとして、その与えられた職務を精一杯行なえば、それで職業奉仕は完成するのです。(横山委員長)

社会奉仕委員会

新しく新世代奉仕が部門として確立しましたが、当クラブは創立時より新世代にかかわるプロジェクトを社会奉仕の主要な事業として取り組んでおり、あらた

めて委員会としての機能を持たせる必要はなく、毎年、年度当初から JVS・HSVS のプロジェクトを通じて新世代育成に努力している。今年度は新たに、大震災という一生に一度でも遭遇することのない大惨事を体験し、ボランティア活動の大切さや人の役に立つことの実感するような事業を展開して行きます。(米島委員長)

国際奉仕委員会

まずは継続事業であるグアムサンライズクラブとの共同事業参加とお互いの事業を理解した協力を行ないます。又、今年度は GSE の受入れの年でもあり竜ヶ崎 RC の協力を行ないたいと思います。2月の世界理解と平和の日については会員に対してその主旨等を再確認し「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない。」ガンジーの言葉を引用した RI 会長の講演での言葉を理解したいと思えます。最後に他クラブ、他団体の国際奉仕事業の調査を行ない、今後の当クラブの国際奉仕事業に役立てばと思えます。(川上委員長)

会長談話

城出鴻二郎

2830 地区青森県のお話です。ご承知かどうか、この地区は地区合併を言われていまして、大震災の関係で猶予をもらったようですが、現在地区で 1000 人程度実際は 3 桁になっているようです。弘前クラブがそれなりに地区では重きを置くというか、水戸、土浦ロータリーさんのような位置に有って、現存でも 3 名のパストガバナーを排出されていますが、合併回避に向けてがんばっておられるようです。因みに今年度のガバナーも弘前ロータリーさんで、今週の例会の出席率は 40% を切ったとか、分区 7 クラブで 146 名とか、第 2820 地区第 7 分区でも、200 人くらいですから、大変な状況のようです。この地区はガバナー選出をクラブの大きさに関係なく選出してきていますから、というよりそうしなければ、選出しきれない背景もあるようで、次年度のガバナーエレクトも青森中央ロータリーさんで会員数 8 名とか、そして女性のガバナーということになります。又、今年度のガバナー補佐は 2 名が女性ですし、色々な地区運営をなさっています。この地区では古参で現役は関場パストガバナーさんですが、年はまだ 60 歳になるかならぬかだと思います。吉岡パストガバナーと同期で、RI の役職も青少年部門についてがんばっておられます。当地区にも何回か研究会においていただいたことがあり、お医者さんですが、非常に熱心な方で海外青年協力隊にて若いころはがんばっておられました。現在は毎年地区研修委員会をやっておいでで、地区のロータリー理解の為に一定水準の維持に努力されています。

地区もクラブも組織の勢力が小さくなると同じ現象が起きるようで、当地区の半分の会員数でやはり同じ

組織を維持するのは難しいのかなと思います。クラブも一定の会員数とアクティブな会員数が少なくなると、色々と言っても形にはならない現象が出始めますし、何かを変えることで是正が出来るかという、形や決まりが原因と思うことも、実は会員夫々の気持ちに至ることになって、会員の気持ちの置き所を大切にするというか、置き所がロータリーの理念に近いところにあってもえればと感じます。

青森のお話で言いますと、前回もお話いたしました、ロータリーの100年の経過の中で、関東大震災当時のRIの面影はまったくありません。瞬間的な日赤の募金獲得能力の凄まじさを見ればロータリーの奉仕がどのあたりにあるべきか、あらためて自問しておくべきかと思います。集まった義捐金で青森は水道施設を復旧させたいといいましたが、やはりダメでそれはロータリーの奉仕ではないということになりました。言い出したロータリアンは面目丸つぶれということですが、今回の大震災でのロータリーの奉仕は如何なるものか、如何にあるべきかを考える必要もありそうです。奉仕活動が本願ではなく、訓練の課程手段であってと申しますが、いつの間にか単なるNPOに変わってしまった感がありますし、広報活動をすればするほど、単なる奉仕団体として埋没してきています。

クラブ奉仕といいますが、クラブの根底に関する会員維持、クラブ例会と会員のために必要な情報を原則的に提供することを会員自らが行うことに意味があります。この課程で親睦とも言いますが、会員同士の信頼感や、連携する意識が醸造されるものですから、以外にこの作業が単純的に見える割に手間隙のかかる作業でもあります。15年の間会報、ホームページ、ロータリー情報等々のクラブよりもしっかりと出来てきたことは大変うれしいことで、これだけでも、小さなクラブとして維持することが如何に大変かは携わってこられた会員の皆さんには、もう一度振り返ってみていただくとその重要さというか、それがやっぱり基本的であったことに気がつくのではと思います。

そういう意味でも、クラブの内向な作業でもありますが、重要な奉仕部門だと思います。幸い職業奉仕も、社会奉仕も、国際奉仕もクラブとしては十分とはいえないまでも可能な限り行っています。他のクラブの社会奉仕の計画を見せてもらっても、予算も含め規模的には大きなクラブに引けはとらないと自負しています。このような活動もこの15年の間切れ目無く、粛々と実施してきた継続的なクラブの力だと思いますし、これからのその力を維持発展させられればとお願い致します。

逆に言いますと、クラブの活動実績はいくらでもありますから、新会員募集に際してはクラブの活動実績を説明願



って、ロータリーの意義をお知らせ願います。クラブ奉仕を実践することもクラブ経営の基本的な必須条件ですから、このあたりもご説明願うことが必要かもしれません。会員のメリットといった場合にクラブ奉仕は会員個人としてはデメリットと思い込んでいる会員さんもいるかもしれませんが、実はこれが一番会員個々にとってはロータリーを感じる一番と近道なのではと思っています。

本日出席状況

会員	20名	出席率 72.22%	
出席者	10名		
出席免除者	2名	亀尾会員	吉澤会員
(定款第9条3節a)	1名	馬場会員	
Make-up	3名	川北会員, 荒木会員, 小林会員	

ニコニコボックス (目標額 600,000 円)

本日 5 件 10,000 円 (本年度累計 62,000 円)

海老原会員：渡利 AG 本日は宜しくお願ひします。
大竹会員：渡利 AG、大竹兄 ご指導宜しくお願ひ致します。
亀尾会員：渡利 AG、大竹幹事、ご苦労様です。
長友会員：納涼会楽しみましょう。
米島会員：渡利 AG 宜しくお願ひします。
High School VS in Fukushima Shinchi 無事終了！
横山会員：福島にて大変貴重な経験をさせて頂きました。

ロータリー豆知識

《9月は「新世代月間」》

(亀尾会員)

1996年2月のRI理事会で、青少年活動月間を新世代のための月間と改称した。

新世代とは30歳までの若い人をいい、RCは月間中に新世代の活動に焦点をあてて活動の強化推進に役立つプログラムを実施するよう奨励されています。

ロータリアンが、いかに熱心により仕事をしつづけたとしても、若い人たちが、指導力や奉仕の精神を受け継いでくれなければ、それまでのロータリアンの努力も歴史のひとつコマになってしまうでしょう。従ってロータリークラブの会員は、青少年の心の中に、責任感を植え付けることに関心を持たなければならない。

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに川上副 SAA TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。